

平成31年度実施

協働推進事業 公開プレゼンテーション

《とき 平成30年12月1日(土) 10時00分～11時15分》
《ところ 茅ヶ崎市役所本庁舎 4階 会議室4・5》

【平成31年度に2年目として実施する事業】

【行政提案型協働推進事業】

| 事業テーマ | 提案団体 |
|----------------------------------|-----------------------|
| 茅ヶ崎公園体験学習センター 「はまかぜ菜園」等管理運営事業 | 半農半xを楽しむ会 |
| 郷土資料デジタルライブラリー推進事業 | 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット |

ちがさ貴族 波の精霊
えぼし麻呂 & ミーナ



目 次

| | |
|----------------------------------|----|
| 平成31年度実施 協働推進事業公開プレゼンテーション進行予定表 | 1 |
| 協働推進事業の概要 | 2 |
| 茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員名簿 | 3 |
| 評価について | 4 |
| 公開プレゼンテーション終了後の予定 | 4 |
| 平成30年度に2年目として実施する事業【行政提案型協働推進事業】 | 7 |
| 1 茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等管理運営事業 | 9 |
| 2 郷土資料デジタルライブラリー推進事業 | 15 |

平成31年度実施 協働推進事業公開プレゼンテーション進行予定表

平成31年度に2年目として実施する事業

開会 10:00 (委員長あいさつ・委員紹介、プレゼンテーション及び選考方法についての説明) 10分

行政提案型協働推進事業(担当課・団体説明10分、質疑10分)

| | 時間 | 事業テーマ | 提案団体：担当課 | 総事業費 (30年度) | 総事業費 (31年度) |
|---|-------------|------------------------------|-----------------------------|----------------|----------------|
| 1 | 10:10~10:30 | 茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等管理運営事業 | 半農半xを楽しむ会 × 青少年課 | 313千円 | 814千円 |
| 2 | 10:32~10:52 | 郷土資料デジタルライブラリー推進事業 | 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット × 図書館 | 1,640千円 | 1,383千円 |

～席移動(3分)～

| | | | | | |
|--|-------------|------|--|--|--|
| | 10:55~11:10 | 総括質疑 | | | |
|--|-------------|------|--|--|--|

閉会の挨拶 ~11:15



協働推進事業の概要

協働推進事業は、「行政提案型」と「市民提案型」とに大別できます。

※今回のプレゼンテーションでは、市民提案型の発表はありません。

| | 行政提案型協働推進事業 | 市民提案型協働推進事業 |
|----------------|--|--|
| 特徴 (事業の考え方) | 協働推進事業は、市民ニーズの多様化や複雑化する地域課題に、より効果的に対応していくための事業です。事業内容に応じて最も効果的な方法を選択し、適切な役割分担により双方の責任において実施します。 | |
| 事業期間 | 【事業の実施】平成30年度、31年度※原則2カ年事業として実施します。 (ただし、調査・研究や検証事業の性質を持つ事業の外、1年間で実施することが望ましい事業のみ、単年度事業として提案が可能です。) | |
| 実施形態 | 原則として「事業協力」です。(市は負担金を支出します。) | |
| 対象 | 茅ヶ崎市市民活動推進条例第11条に基づく登録を受けた市民活動団体及び法人格を有する団体 | |
| 対象事業 | 担当課が提案した事業 | 次の要件をすべて満たすもの ① 市内で実施されるもの又は市民が受益者となるもの ② 提案を行った市民活動団体等が実施するもの ③ 市と協働することで、相乗効果が期待できるもの ④ 茅ヶ崎市総合計画の方向性に沿ったもの |
| 予算規模 | 総合計画実施計画事業として実施します。 | |
| | 事業ごとに上限額を設定。 | 市の負担金総額は2カ年で2,000万円以内とします。 (単年度上限額：1,000万円) |
| 実施体制 | 主に担当課＋市民活動団体等 | |

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員名簿

| 区分 | 委員名 | 所属 |
|-------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 市 民 | くさ の まさ ひろ 草 野 正 弘 | 公募 |
| | にし の ぎ いち 西 野 義 一 | |
| | もり ゆう いち ろう 森 祐 一 郎 | |
| 市民活動を行う ものの代表者 | しい の のり こ子 椎 野 典 子 | NPO 法人市民活動を支える会理事長 |
| | はだ の たく や 秦 野 拓 也 | NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎事務局長 |
| 事業者の代表者 | いし た き いち 石 田 貴 一 | 湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部部長 |
| | きた がわ てつ や 北 川 哲 也 | 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所事務局長 |
| | たか はし じゅん じ 高 橋 準 治 | 株式会社タウンニュース社湘南支社長 兼 茅ヶ崎編集室編集長 |
| 学識経験を 有する者 | い どう たかし 伊 藤 隆 | 元国際交流基金日米センター事業第二課長 |
| | いわ かべ さかえ 岩 壁 榮 | 茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会 |
| | おお え もり ゆき 大 江 守 之 | 放送大学客員教授 慶應義塾大学名誉教授 |
| | なか がわ くみ こ 中 川 久美子 | 元横浜市政策支援センター主席研究員 |
| | みず しま しゅう いち 水 島 修 一 | 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会 常務理事 |

評価について

平成31年度を2年目として提案された事業は、平成30年度を1年目として実施している事業の中間評価及び2年目の具体的な事業計画等について公開プレゼンテーションによる審査を行った上で評価し、決定します。

注) 公平な審査を行うため、市民活動推進委員会委員には、次のような決まりがあります。

- 1 自己や親族が関係する団体の採点を行わない。
- 2 公開プレゼンテーションでは、自己や親族が関係する団体への質問を行うことはできない。
また、委員自身がプレゼンテーションを行うことはできない。
- 3 評価会議（非公開）では、自己や親族が関係する団体の審議時に退席する。

(参考)

委員は、自己、配偶者若しくは3親等内の親族又は自己若しくはこれらの者の所属する団体に直接の利害関係のある事件については、その議事に加わることができない。(茅ヶ崎市市民活動推進委員会規則 第7条)

公開プレゼンテーション終了後の予定

◆実施事業候補の内定（平成30年12月下旬～平成31年1月上旬）

市民活動推進委員会からの評価会議の答申を受けて、市長が決定します。審査結果は、文書で通知すると共に、説明の場を設け、直接お伝えします。また、ホームページなどを通じ、一般に公表します。

なお、事業の実施については平成31年3月末の茅ヶ崎市議会定例会に提出される予算案の審議・議決を経て正式に決定されます。

◆事業実施に向けての協議（実施事業候補の内定～平成31年3月末）

協働推進事業を効果的に実施するために、提案団体が作成した事業提案企画書を基本として、事業の細部を協議、確認し、協働事業計画書（仕様書）を作成します。

また、事業の開始前に協働事業計画書（仕様書）の内容を担保するための協定等を締結します。

○協議、確認する事項の例

- (1) 事業目的
- (2) 役割分担
- (3) 経費負担
- (4) 実施方法
- (5) 事業期間及びスケジュール
- (6) 守秘義務
- (7) 成果物の仕様と取り扱い
- (8) 事業途中での計画の変更に係る手続き
- (9) トラブル発生時の対応方法及び責任分担 など

○成果について

協働事業の成果は、原則として市民活動団体と市が共有し、公益的な目的のために利用できるものとします。事業の性格、実施方法、その他の理由により、成果を共有できない場合についても、その内容を双方合意のもとに、協定書等の文書に明記します。

*【必須条件】業務日報の作成と提出について

公共事業として事業を実施するにあたり、人件費等、費用の透明性を確保するために、日々の業務内容記録や有償スタッフの活動記録などをしっかりと残し、実績を中間・期末評価時に報告出来るようにしてください。具体的な活動内容が示されていない人件費とならないように注意してください。

◆事業の実施（平成31年4月～平成32年3月）

協働推進事業は原則2年間の事業となりますが、今回は平成31年度に2年目を迎える事業の提案のみでしたので、事業期間は平成31年4月から平成32年3月となります。

◆事業実施過程での協議と報告（平成31年4月～平成32年3月）

提案団体と担当課は、事業の進捗状況等について、定期的に協議を行います。また、提案団体は、事業終了後、実績報告書及び収支決算書を担当課に提出し、その結果を市民活動推進委員会に報告します。

◆事業の評価（2年目中間評価：平成31年9月／2年目期末評価：平成32年3月）

提案団体と担当課の双方が「事業内容」と「協働プロセス」についての評価を行い、結果を公表します。市民活動推進委員会は、実施期間中及び終了後に評価を行います。

【中間報告】 事業の途中で進捗状況を検証することで、事業の着実な推進を図ると共に、より大きな成果が得られるよう努めます。

【最終評価】 事業の評価結果を共有します。また、第三者機関（市民活動推進委員会）による評価を行い、その結果を公表することで、協働推進事業の透明性、信頼性を向上させます。

◆事業の公開

事業の透明性と公開性を高めるため、応募書類（個人情報を除く。）、事業内容などを広報紙やホームページ、市政情報コーナー（市役所本庁舎1階）で公表します。

【行政提案型協働推進事業】（2年目）

| 募集事業テーマ | 提案団体 |
|--|---------------------------|
| 茅ヶ崎公園体験学習センター 「はまかぜ菜園」等管理運営事業 ※平成30年度は「（仮称）茅ヶ崎公園体験学習施設「はまかぜ菜園」等管理運営事業」として実施しているものですが、施設の正式名称の決定に伴い、事業テーマが修正されています。 | 半農半xを楽しむ会 |
| 郷土資料デジタルライブラリー推進事業 | 特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット |

行政提案型1 茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかせ菜園」等管理運営事業
(半農半xを楽しむ会)

協働事業評価書

| | |
|------|--------------------------------|
| 事業名 | (仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設「はまかぜ菜園」等管理運営事業 |
| 団体名 | 半農半xを楽しむ会 |
| 担当課名 | 青少年課 |

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください。

成果目標 各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

平成31年1月に開館する茅ヶ崎公園体験学習センターの「はまかぜ菜園」において行う土や植物に触れる機会を通じて、新たな気づきや楽しさを知ること、生きがいつくりやあらゆる世代の交流を促進する。

| 活動指標(サービスやイベントなどの実施内容) | 対象者等 | 目標値 | 結果 |
|------------------------|----------------------|-----|-----|
| 基礎講座、土づくり・種まき等の実践講座 | 子どもから高齢者まで あらゆる世代 | 12回 | 未実施 |

受益者評価の目標値

| 評価手法 | 対象者等 | 目標値 |
|------------------------|------|-----|
| フィードバック調査(アンケート、ヒアリング) | 参加者 | — |
| | | |

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

事業未実施のため(12月2、4日に基礎講座、その後に実践講座を開催します。)

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・・・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・・・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・・・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・・・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・・・事業実施前の想定より評価がはるかに低いと感じられた

協働プロセス

| 相乗効果 | 評価点数・団体 | 評価点数・行政 |
|------------------------------------|-------------|-------------|
| 1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか | 3 | 3 |
| | ↑ 1点から5点を記入 | ↑ 1点から5点を記入 |

事業内容の評価

| 事業の進捗状況 | 評価点数・団体 | 評価点数・行政 |
|----------------------------|----------------|----------------|
| 2. 事業は計画通りに進捗していますか | 3 | 3 |
| | ↑ 1点から5点を記入 | ↑ 1点から5点を記入 |
| 1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→ | — | — |
| | ↑コメントを記入してください | ↑コメントを記入してください |

| 事業手法の妥当性 | 評価点数・団体 | 評価点数・行政 |
|-------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか | 3 | 3 |
| | ↑ 1点から5点を記入 | ↑ 1点から5点を記入 |
| そのように感じる理由を記入してください→ | 従来の貸し農園等にはないポタジェ菜園や無施肥・無農薬での野菜作りを実施することは、我々が持つ個性が生かされると考えるため。 | 本事業が市民活動団体が持つ専門的な知識（たんじゅん農法）を活用できるため。 |
| | ↑コメントを記入してください | ↑コメントを記入してください |

| 事業手法の妥当性 | 評価点数・団体 | 評価点数・行政 |
|---------------------------------------|--|--|
| 4. 事業を実施する事により市民の満足度を高めることができそうと感じますか | 3 | 3 |
| | ↑ 1点から5点を記入 | ↑ 1点から5点を記入 |
| そのように感じる理由を記入してください→ | 施設のコンセプトでもある子どもから高齢者までの交流ができ、共に楽しく学びながら実践できる機会が得られるため。 | 事業企画の立案の段階から目的や情報が共有できることで、事業のブラッシュアップが行われ、より魅力ある事業を創り上げることができるため。 |
| | ↑コメントを記入してください | ↑コメントを記入してください |

平成31年度実施協働推進事業 事業概要書

| | |
|--------------------|---|
| 実施年度 | 平成31年度 |
| 団体名 | 半農半xを楽しむ会 |
| 提案事業の名称 | 茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等管理運営事業 |
| これまでの経過 (活動経過等) | <ul style="list-style-type: none"> ・香川公民館と協働し、菜園作りの体験会や食育活動を実施している。 ・NPO法人 まちづくりスポット茅ヶ崎と協働し、プランターを用いた土づくりの講習、料理教室等の食育活動を実施している。 ・本事業においては、12月2、4日に開催する基礎講座に向けた現地確認、意見交換等を行った。 |
| 現状の課題 | 都市化の影響を受け、土や植物など自然に触れる機会が少なくなってきたており、子どもたちは野菜がどのような形をしているのか、どのように育つのか知らないと聞く。さらには多世代交流がなくなってきたており、昔ながらの知恵や経験等を継承していく機会が大幅に減っている中、高齢化も進み早急な対応が必要と思われる。 |
| 事業の目的 | <p>子どもから高齢者まであらゆる世代が土に触れ自然を学ぶ機会を提供し、自分たちの気づきや学びを共有しながら自分たちの「好き」や「得意」を知り、自立を促し生き甲斐を生み出す場としていく。</p> <p>老若男女関係なく楽しく学び合い、多世代にわたっての交流が生まれ様々なものが生まれるような環境づくりを行う。</p> |
| 提案事業の目標 (目標値等) | <p>【2年目の目標】</p> <p>土作りや種まき、野菜の育て方、調理実習など、月2回(第1、第3日曜日)講習会や実習会を実施。(日程については、今年度の事業実施の際に行うアンケートやヒアリング等を踏まえ、適切な曜日等を設定する。)</p> <p>その他スタッフと一緒に軽作業や収穫等は、週に3日ほどのペースで実施。</p> |
| 2年目の提案事業の概要 | <p>種まきから野菜の栽培、管理収穫、調理と一連の作業を通して、実際の野菜の育て方を学び、一緒に食べながら農や食の楽しさや大切さを学び、感じる構成とする。</p> <p>1年目と同様に、参加者は子どもたちができるだけ主体的に動き「子ども先生」として学びと自信を深められるような環境づくりを行う。それらを通じて大人たちも世代を超えて繋がりあい、助け合い学び合えるようなコミュニティを形成していきたい。</p> <p>そしてここでは農業だけにとどまらず、写真や絵やものづくりなど、集まる人たちの得意を生かしていけるような場づくりを目指す。</p> |
| 事業の対象 | <p>子どもから高齢者まであらゆる世代</p> <p>それぞれに持っている能力が引き出せるように意識を持っていただく。その中で参加者全員が自分の得意や好きを活かせるような仕組みづくりを構築していく。</p> |

| | |
|------------|--|
| 協働の必要性 | <p>平成27年度より農薬も肥料も使わない炭素循環農法で農業を営んでいます。</p> <p>茅ヶ崎市の健康活動の一環として、そのような農法や地産地消の推進、自給率の向上のためにもまずは市民の方々が土に触れる機会を持たせることが重要であり、茅ヶ崎の持つ多世代への広報力を生かしたい。</p> <p>また、我々が経験し、得られた農業に関する専門的な知識やノウハウは市民の方々にとっても大きな財産になると考えられる。</p> |
| 協働による相乗効果 | <p>体験学習センターの魅力を生分に生かし、子どもたちが土に触れる機会を得られると共に、幅広い多世代の方々の間でコミュニケーションやつながりが生まれ、農を通して健康意識の向上や市民農園等の活性化が期待できる。</p> <p>更には農との触れ合いや人とのつながりの中で生命の大切さに触れ、感謝や思いやりの心を育み、自分や周りを大切にできるような心を養う機会が多くの方々に波及していくことが期待される。</p> |
| 市民活動としての特性 | <p>平成31年1月の開館後は単に農業体験だけではなく、園芸や食などにも触れながら多様な学びを提供し、団体が有するネットワークを生かし、人を繋げていく仕組みやそれぞれの得意分野を活かせる仕組みなどを仕掛けて、活気あふれるものにしていくことを目指す。</p> |
| 協働の役割分担 | <p>1 提案団体が果たそうとする役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座や実習のコンテンツの作成及び実施 ・定期的な菜園のメンテナンス ・コミュニケーションハブの役割 ・ボランティア等必要人員の募集 <p>2 市に期待する役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集時の広報、受付 ・市民からのフィードバック調査等（アンケート、ヒアリング） |
| 事業実施体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・講習会、実習等では講師役＋サポート2名の計3名以上で実施予定。 ・通常のメンテナンス等は、一定期間内に持ち回りで対応する予定。 ・大規模のイベント等を実施する際は、ボランティアを活用。（4～5名ほど） |
| 事業スケジュール | <p>4～5月 種まきを中心に春夏野菜やハーブなどの作付けを行う。混植しながら多様性のある菜園を作り出し、色鮮やかで見た目にも楽しい菜園作りを目指す。</p> <p>6月 順次収穫できるものが出てくるため、収穫作業やメンテナンス（剪定、摘果、摘芯、草刈り等）を実践しながら学んでもらう。</p> <p>8月 お盆明けからは秋冬野菜に向けた植え付けなどを考えて、実際の種まきや苗作りなどを行う。その際、自然を参考にした土作りも並行して行い、自然についても理解を深めていく。</p> <p>夏頃と秋～年末 収穫祭などを行い、収穫したものを一緒に調理しみんなで食べながら参加者が交流できる場を作っていく。調理なども高齢の方が昔ながらの料理などを教えられるような機会も作りたい。それ以外にも味噌作りや藁を編んだり、昔は家庭で当たり前のようにしてきたことを学べたりするような講座も実施していく。</p> <p>1～3月 収穫に加え、翌年に向けた土作りなどを行う。</p> |

平成31年度実施協働推進事業 収支計画書

| | |
|---------|------------------------------|
| 団 体 名 | 半農半xを楽しむ会 |
| 提案事業の名称 | 茅ヶ崎公園体験学習センター「はまかぜ菜園」等管理運営事業 |

(収入)

| 区 分 | 見積額 (単位：千円) | 内訳 (積算根拠) |
|----------------------|----------------|------------------|
| A 茅ヶ崎市負担金 | 654 | |
| B 参加者負担金 | 160 | 参加費2,000円×40人×2回 |
| C | | |
| D | | |
| E 合 計 (AからDまでの合計) | 814 | |

(支出)

| 区 分 | 見積額 (単位：千円) | 内訳 (積算根拠) |
|----------------------------|----------------|---|
| F 人 件 費 | 528 | スタッフ実費弁償(全体打ち合わせ、事前準備、当日運営、講師打ち合わせ、チラシ・報告書作成他)1,000円×2人×192日(週4回)、講習費3,000円×48回 |
| G 謝 金 | 0 | |
| H 旅 費 交 通 費 | 12 | 農機具、資材、種苗等運搬費 1回500円×24回 |
| I 通 信 運 搬 費 | 4 | 切手、物品費 100円×20件×2回(市民団体、NPO法人等への送付) |
| J 印 刷 製 本 費 | 116 | 資料コピー代10枚×40部×24回×10円=96,000円 チラシ印刷代10,000円(7,000部)×2回=20,000円 |
| K 物 品 費 | 70 | プリンター用インク代30,000円 ノート、封筒、筆記用具等5,000円 農機具、資材(種、苗代を含む)、木材等35,000円 |
| L 賃 借 料 | 0 | |
| M 保 険 料 | 27 | 行事保険1,120円(28円×40名)×24回=26,880円 |
| N 一 般 管 理 経 費 (諸 経 費) | 57 | 直接事業費 |
| O 事 業 費 総 額 (FからNまでの合計) | 814 | |

※事業採択時の2年目の予算額が上限額となりますので、御注意ください。

行政提案型2 郷土資料デジタルライブラリー推進事業
(特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット)

協働事業評価書

| | |
|------|-----------------------|
| 事業名 | 郷土資料デジタルライブラリー推進事業 |
| 団体名 | 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット |
| 担当課名 | 教育推進部図書館 |

目標の設定

事業実施前に、事業の実施により達成する目標や、受益者評価の目標を設定してください

成果目標 各項目については、実施団体と担当課が協議の上で決定してください。

目標とする成果（何がどう変化することを目指すのかを記入してください。）

郷土資料など貴重な資料をデジタル化し、インターネット上で公開することにより、資料の保存と利用を両立させる。利用者はどこにいても来館者と同様のサービスが受けられる。
更に、郷土資料の収集・保存・利用を通じて、茅ヶ崎市の文化を守り育て、地域におけるさまざまな学びを発展させていく。

| 活動指標(サービスやイベントなどの実施内容) | 対象者等 | 目標値 | 結果 |
|---|-------|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"> デジタル化する資料選定のためワークショップの開催 選定資料のデジタル化 デジタル化した資料を保存するためのホームページ構築 デジタル化した資料を使ったワークショップの開催 シンポジウムの開催 | 茅ヶ崎市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・1回 ・300枚以上 ・構築 ・2回 ・1回 | |

受益者評価の目標値

| 評価手法 | 対象者等 | 目標値 |
|------------------------|------------|--------------------|
| 郷土資料活用ワークショップでのアンケート結果 | ワークショップ参加者 | “役に立った”が60%以上であること |
| | | |

受益者評価ができない場合、その理由を記入してください。

| |
|--|
| |
|--|

中間評価

中間評価

各項目の評価

下記の評価項目について、1点から5点の評価または、設問に沿ったコメントを記入してください。

評価得点の目安



- 5点・事業実施前の想定をはるかに良い方向に上回った
- 4点・事業実施前の想定をやや良い方向に上回った
- 3点・事業実施前に想定した範囲の評価であった
- 2点・事業実施前の想定より評価がやや低いと感じられた
- 1点・事業実施前の想定より評価をはるかに低いと感じられた

協働プロセス

| 相乗効果 | 評価点数・団体 | 評価点数・行政 |
|------------------------------------|-------------|-------------|
| 1. それぞれが単独で行うよりも大きな効果を得ることができていますか | 4 | 4 |
| | ↑ 1点から5点を記入 | ↑ 1点から5点を記入 |

事業内容の評価

| 事業の進捗状況 | 評価点数・団体 | 評価点数・行政 |
|----------------------------|-----------------|-----------------|
| 2. 事業は計画通りに進捗しているか | 4 | 4 |
| | ↑ 1点から5点を記入 | ↑ 1点から5点を記入 |
| 1点及び2点と評価した場合、理由を記入してください→ | ↑ コメントを記入してください | ↑ コメントを記入してください |

| 事業手法の妥当性 | 評価点数・団体 | 評価点数・行政 |
|-------------------------------------|--|--|
| 3. この事業を協働という事業手法で行うことが最善であると感じましたか | 4 | 5 |
| | ↑ 1点から5点を記入 | ↑ 1点から5点を記入 |
| そのように感じる理由を記入してください→ | 資料提供、著作権処理は図書館で、資料のスキャン、ホームページ制作はSFSで、ワークショップは相互の協力でと、協働でうまく進行している。 ↑ コメントを記入してください | 郷土資料に関心のある団体の興味を喚起し、ワークショップを通じてつながりができた。また、職員の事務負担や費用対効果からみても、委託では実現が難しく、協働という事業手法の有用性を感じている。 ↑ コメントを記入してください |

| 事業手法の妥当性 | 評価点数・団体 | 評価点数・行政 |
|---------------------------------------|--|--|
| 4. 事業を実施する事により市民の満足度は高めることができそうと感じますか | 4 | 4 |
| | ↑ 1点から5点を記入 | ↑ 1点から5点を記入 |
| そのように感じる理由を記入してください→ | テーマ選定ワークショップに、ほぼ定員の19名の方が参加され、アンケート結果では、81%の方が良かったと回答 ↑ コメントを記入してください | 6月に開催したワークショップの参加者アンケートでは、8割以上が「良かった」「まあ良かった」と回答していることから、デジタルライブラリー公開に対する期待の高さが伺える。 ↑ コメントを記入してください |

平成31年度実施協働推進事業 事業概要書

| | |
|--------------------|--|
| 実施年度 | 平成31年度 |
| 団体名 | 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット |
| 提案事業の名称 | 郷土資料デジタルライブラリー推進事業 |
| これまでの経過 (活動経過等) | <p>湘南ふじさわシニアネットは、「シニアのもつ知識・技術・経験を生かし、地域社会に貢献する」をミッションとして、多様な地域課題の解決に注力してきた。</p> <p>茅ヶ崎市の協働推進事業としては、ICTを活用した地域コミュニティの醸成（平成22年度）、生涯学習ガイドブック検索システムの構築（平成24年度）、新しい公共の担い手ブラッシュアップ事業（平成24年度）、ちがさきエコネット事業（平成26年度）、リユースを中心とした4R促進事業（平成27年度）、防災への動画活用事業（平成29年度）と6件の経験がある。</p> <p>図書館については、国立がんセンターが主導する科学技術コミュニケーション推進事業「継続的なワークショップ運営による情報弱者向けがん情報ツールの作成と普及」事業の逗子チームで、平成26年から3年間、逗子図書館、慶應義塾大学などとともに図書館を利用してのがん情報の普及に協力してきた。</p> <p>また、茅ヶ崎市立図書館のクリスマス会には毎年ボランティアとして参加している。</p> <p>平成30年度には、本郷土資料デジタルライブラリー推進事業の1年目として、茅ヶ崎市立図書館と協働推進事業を遂行中である。</p> |
| 現状の課題 | <p>郷土資料等の貴重資料の閲覧は、場所と機会が限られ、また利用による破損も懸念される。</p> <p>郷土資料の活用を通じて、市民が茅ヶ崎の文化に触れまた新しい文化を醸成していく必要がある。</p> |
| 事業の目的 | <p>郷土資料等の貴重資料をデジタル化することにより、家庭からもインターネットを通じて、いつでもどこでも閲覧することができる。</p> <p>貴重な資料の破損も起こらない。</p> <p>郷土資料の活用を通じて、茅ヶ崎市民が茅ヶ崎の文化に触れまた新しい文化を醸成していくことはもとより、世界中の方々が茅ヶ崎の文化に触れることができる。</p> |
| 提案事業の目標 (目標値等) | <p>【2年目の目標】</p> <p>前年度に引き続き、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化する資料 300枚 ・デジタル化した資料を保存するためのホームページの運営・強化 ・ワークショップ 3回開催 ・シンポジウム 1回開催 |

| | |
|-------------------------|---|
| <p>2年目の 提案事業の概要</p> | <p>前年度に引き続き、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎市立図書館また茅ヶ崎市関連施設の所蔵する貴重な資料を選別し、簡易な方法によりデジタル化する。 ・選別にあたっては郷土資料を精査し、時代、場所、人などのテーマで候補を作成する。 ・郷土に関心の深い幅広い市民の参加を求め、テーマ選別のワークショップに参加していただき、市民が関心の高いテーマを優先する。 ・前年度に構築したデジタル化した資料を保存・公開するホームページを運営する。 ・ホームページは、パスファインダー（情報の探し方・調べ方を案内するもの）のように、前年度の状況をみて一層容易に見たい資料に辿り着けるように強化する。 ・デジタル化した資料を活用し、市民がわくわく感を持って参加できるワークショップや公立図書館と郷土デジタルライブラリーをはじめその所蔵品に親近感を持っていただけるシンポジウムなどのソフト事業を実施し、より多くの市民が参加できる学習活動を行う。 ・企画からシンポジウムを通じて、図書館学の権威である慶應義塾大学名誉教授 田村俊作先生、教授 池谷のぞみ先生に事業のアドバイザーからシンポジウムでの基調講演などをお願いする。 |
| <p>事業の対象</p> | <p>茅ヶ崎市民を主な対象とするが、周辺地域更には全世界の茅ヶ崎の歴史・文化に関心を持たれる方がたを対象とする。</p> |
| <p>協働の必要性</p> | <p>行政は多くの貴重な郷土資料を所有しているが、単なる資料のデジタル化にとどまらず、郷土資料から新たな魅力を引き出し活用するためには、市民活動団体等と協働することで、団体が持つ専門性、先駆性だけでなく、地域に密着し、市民を巻き込んだ活動へ発展させる。</p> |
| <p>協働による 相乗効果</p> | <p>行政は多くの郷土資料を持ちこれらを見てもらいたい。一方、市民は、郷土資料の中で興味深いものがあれば見たい知りたい。更には、それらの資料を活用して新たな知識を得てゆきたい。 市民活動団体はこの両者のマッチングが図れる。</p> |
| <p>市民活動としての 特性</p> | <p>公益性：市民にとって郷土を知りそれを愛することは最も重要な課題であり、公益性が高い 当事者性：市民団体の構成員も市民として当事者である 専門性：郷土知識や高度なICT（情報通信技術）を活用する。また、知的財産権やアクセシビリティに対する高い知見がある 柔軟性：湘南ふじさわシニアネットは、約100名の多様な人材で構成され、柔軟な発想で参画できる 創造性：柔軟性と同様、多様な創造性を発揮できる</p> |

| | |
|----------|---|
| 協働の役割分担 | <p>1 提案団体が果たそうとする役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化する郷土資料のテーマ企画 ・市民を巻き込んだデジタル化する郷土資料の選定 ・デジタル化した郷土資料を閲覧できるホームページの運営・強化 ・ワークショップやシンポジウムの企画・運営 ・プロジェクト管理（品質、スケジュール、コスト） ・議事録、報告書の作成 <p>2 市に期待する役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所蔵する郷土資料の紹介と提供 ・関係課かいとの連絡調整 ・デジタル化する郷土資料の著作権処理 ・広報ちがさき、市ホームページ、図書館ホームページ、図書館掲示などによる市民への広報 ・ワークショップ、シンポジウムのための会場の提供と参画 ・会議室の提供 |
| 事業実施体制 | <p>統括責任者：小林信武 プロジェクトマネージャー：影浦憲一 スタッフ：瀬下孝之、松本学、山本実他</p> |
| 事業スケジュール | <p>平成31年4月～平成32年3月 毎月の定例会議でのプロジェクト管理 平成31年4月～5月 前年度の振り返りと今年度の企画 平成31年6月～7月 今年度にデジタル化する郷土資料のテーマ選定、そのためのワークショップの開催 平成31年6月～8月 郷土資料のデジタル化と著作権処理 平成31年9月～11月 ホームページの強化とデジタル化した郷土資料のアップロード 平成31年10月～平成32年2月 郷土資料活用のワークショップ 2回、図書館に関するシンポジウム 1回開催 平成32年3月 事業の総括と引継ぎ</p> |

平成31年度実施協働推進事業 収支計画書

| | |
|---------------|-----------------------|
| 団 体 名 | 特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット |
| 提 案 事 業 の 名 称 | 郷土資料デジタルライブラリー推進事業 |

(収入)

| 区 分 | 見積額 (単位：千円) | 内訳 (積算根拠) |
|----------------------|----------------|-----------|
| A 茅ヶ崎市負担金 | 1,383 | |
| B | | |
| C | | |
| D | | |
| E 合 計 (AからDまでの合計) | 1,383 | |

(支出)

| 区 分 | 見積額 (単位：千円) | 内訳 (積算根拠) |
|-------------|----------------|--|
| F 人 件 費 | 1,028 | プロジェクト管理 60工数×1620円=97,200円 企画 94工数×1620円=152,280円 デジタル化資料選定(選定のためのワークショップを含む) 36工数×1620円=58,320円、 運営 15工数×1080円=16,200円 ちらし作成 20工数×1620円=32,400円 資料スキャン 150工数×1080円=162,000円 郷土資料デジタルライブラリー広報ちらし作成 20工数×1,620円=32,400円 ホームページ運用 144 工数×1620円=233,280円 ワークショップ 企画・まとめ 2回×20工数×1620円=64,800円 運営 2回×15工数×1080円=32,400円 ちらし作成 2回×20工数×1620円=64,800円 シンポジウム 企画・まとめ 20工数×1620円=32,400円 運営 15工数×1080円=16,200円 ちらし作成 20工数×1620円=32,400円 |
| G 謝 金 | 100 | 企画会議謝礼 2人×2回×10000円=40,000円 デジタル化資料選定ワークショップ 2人×1回×10000円=20,000円 シンポジウム講演 1人×2時間×20000円=40,000円 (上記には交通費込み) |
| H 旅 費 交 通 費 | 44 | プロジェクト管理 24人回×550円=13,200円 郷土資料精査・企画会議 12人回×550円=6,600円 選定ワークショップ 8人回×550円=4,400円 スキャン 20人回×550円=11,000円 |

| | | | |
|---|----------------------|-------|---|
| | | | ワークショップ 10人回×550円=5,500円 シンポジウム 5人回×550円=2,750円 |
| I | 通信運搬費 | | |
| J | 印刷製本費 | 30 | 選定ワークショップちらし 5,000円 郷土資料デジタルライブラリーちらし 10,000円 ワークショップちらし 2回×5000円=10,000円 シンポジウムちらし 5,000円 |
| K | 物品費 | 18 | プリンターインク代、用紙代 1,500円/月×12か月=18,000円 |
| L | 賃借料 | 38 | サーバー・ドメイン代 37,800円 |
| M | 保険料 | | |
| N | 一般管理経費 (諸経費) | 125 | A~M合計 1,258千円×10%以下 |
| O | 事業費総額 (FからNまでの合計) | 1,383 | |

(注) 平成31年10月には、消費税の引き上げが予想されるが、消費税の引き上げ分は一般管理費での調整などを行い、予算額の上限を守る。

※事業採択時の2年目の予算額が上限額となりますので、御注意ください。

